

1972年に第17回ユネスコ総会で採択された「世界遺産条約」に基づき、ユネスコの「世界遺産リスト」に登録されている物件は、2005年4月現在、788物件に上ります。昨年6月に中国の蘇州で開催された第28回世界遺産委員会では、「紀伊山地の霊場と参詣道」が日本では12番目の世界遺産として登録され話題になりました。この「学びの旅」は、人類共通の財産である「世界遺産」を通じて、その国の自然環境や歴史・文化を学び国際理解を深めることを目的にしています。日本で世界遺産の研究と啓蒙活動に精力的に

取り組んでいる世界遺産総合研究所の監修のもと、世界遺産を取り巻く最近の話題や最新情報も得られるような仕組みにしました。第1弾は、南アフリカです。壮大な自然景観と多彩な歴史・文化を誇るこの国の魅力を世界遺産を通じて、ご案内します。



古田 清久 氏 記事のおすすめ

今年の世界遺産委員会は、南アフリカのダーバン市で、7月に開催されます。この第29回世界遺産委員会で注目されるのは、北海道の「知床」の登録可否が決まることです。

南アフリカは、1997年10月に世界遺産条約を締結し、現在、6つの世界遺産がユネスコの世界遺産リストに登録されています。ラムサール条約の登録湿地でもある「グレーター・セント・ルシア湿原公園」、カースタンボッシュ国立植物園がある「ケープ・フローラル地方の保護地域」の2つの自然遺産、人類学上や考古学上きわめて重要な「スタークフォンテン、スワー克蘭ズ、クロムドライと周辺の人類化石遺跡」、人種差別や人権抑圧などの苦難を乗り越え民主主義と自由を勝ち取った象徴である「ロベン島」、広大なサバンナの自然とかつての王国の遺跡とが調和した「マプングブウェの文化的景観」の3つの文化遺産、そして、雄大な自然景観と先住民サン族の岩壁画を誇る「オカシュランバ・ドラケンスバーグ公園」の複合遺産と多様です。また、今年の世界遺産委員会では、世界最大規模の巨大な隕石孔である「フレデフォート・ドーム」が、自然遺産の候補に挙がっています。そして、隣国のジンバブエには、二国にまたがる世界遺産で、世界三大瀑布のひとつ「ヴィクトリア・フォールズ」がジンバブエとの国境に控えています。自然と文化のバランス、地球の奇跡と人類の遺跡、南アフリカは、世界遺産学の宝庫です。南アフリカは、驚きと感動に満ちた時空を超えた魅力ある旅を私たちに誘います。

ロベン島

ケープタウンの北11kmの沖合にある面積574haの島。この島の歴史は、1525年頃ポルトガルの船が罪人を島に置き去ったことに始まる。その後、オランダやイギリスによって、監獄、難病で苦しむ人達を隔離する病院、軍事基地、1950年代には、海軍の訓練センターとしてなど、用途は転々とした。

後に、南アフリカ共和国の大統領となりノーベル平和賞も受賞したネルソン・マンデラ氏（1918年～）も政治犯として囚われ、1964年に無期懲役の判決を受け、18年もの間、石切場などで重労働を課せられた。

ケープ・フローラル地方の保護地域

南アフリカの南西、ケープ州のケープ半島国立公園、シーダーバーグ原生地域など8箇所の保護地区からなり、総面積は5530km²にも及ぶ。

ケープにおける植物の数が多様で、更に、固有種は、世界でも有数で、地球上に18か所ある生物多様性のホットスポットの一つに数えられている。

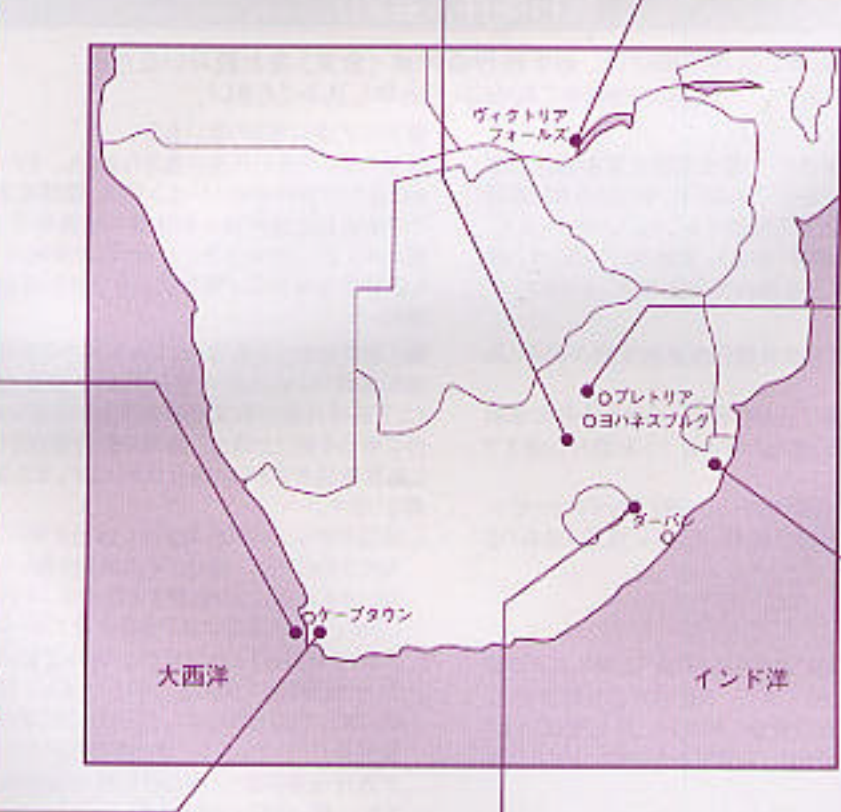
南アフリカの世界遺産の基礎知識

世界遺産条約締結年：1997年7月10日批准

南アフリカの世界遺産の数：6物件（自然遺産 2物件、文化遺産 3物件、複合遺産 1物件）

南アフリカの世界遺産

- グレーター・セント・ルシア湿原公園 (Greater St. Lucia Wetland Park) 自然遺産 (登録基準 (ii) (iii) (iv)) 1999年登録
- スタークフォンテン、スワー克蘭ズ、クロムドライと周辺の人類化石遺跡 (Fossil Hominid Sites of Sterkfontain, Swartkrans, Kromdraai, and Environs) 文化遺産 (登録基準 (iii) (vi)) 1999年登録
- ロベン島 (Robben Island) 文化遺産 (登録基準 (iii) (vi)) 1999年登録
- オカシュランバ・ドラケンスバーグ公園 (uKhahlamba/Drakensberg Park) 複合遺産 (登録基準 自然 (ii) (iv) 文化 (i) (iii)) 2000年登録
- マプングブウェの文化的景観 (Mapungubwe Cultural Landscape) 文化遺産 (登録基準 (ii) (iii) (iv) (v)) 2003年登録



オカシュランバ・ドラケンスバーグ公園

レントと国境を接するクワズール・ナタール州の山岳地帯にある。3000m級の秀峰、緑に覆われた丘陵、玄武岩や砂岩の断崖、深谷など変化に富んだ地形と雄大な自然景観を誇る。

文化面では、ブッシュマンを祖先にもつ狩猟民族で、ドラケンスバーグの山岳地帯に住んでいた先住民のサン族が4000年以上にもわたって書き続けた岩壁画が、数多く残っており、当時の彼等の生活や信仰を知る上での重要な手がかりとなっている。

ヴィクトリア瀑布 (モシ・オア・トゥニャ)

ナイアガラの滝、イグアスの滝と共に世界三大瀑布のひとつ。幅1700m、最大落差150mでジンバブエとジンバブエ両国境を流れる南アフリカの大川ザンベジ川の中流に、轟音を響かせる水煙のパノラマを展開する。

スタークフォンテン、スワー克蘭ズ、クロムドライと周辺の人類化石遺跡

ノースウェスト州のスタークフォンテン渓谷の中にある洞窟。発掘された出土品は、350万年前から現在に至るまでの人類の進化の様子や旧石器時代の生活がわかる。人類学や考古学上、きわめて重要な貴重な情報をもたらす。今も尚、探索や発掘が進められている。

グレーター・セント・ルシア湿原公園

クワズール・ナタール州のセント・ルシア湖周辺に広がる自然保護区。河川、海水、風などが造り出した珊瑚礁、チャーターズ入江など長い砂の海岸、海浜の砂丘、湖沼、葦やパピルスが茂る湿地帯を含む変化に富んだ地形や生物学的にも注目される生態系の連続が見られる。

○ケープ・フローラル地方の保護地域 (Cape Floral Region Protected Areas)

自然遺産 (登録基準 (ii) (iv)) 2004年登録

南アフリカの世界遺産暫定リスト記載物件

- フレデフォート・ドーム (Vredefort Dome) 自然遺産候補 2005年登録 見込み
- ツワイン隕石クレーター (Tswaing Meteorite Crater)
- アレキサンドリアの海岸砂丘 (Alexandria Coastal Dunefield)
- キンバリー鉱山と関連初期遺産 (Kinberley Mines and Associated Early Industries)
- マカパン深谷 (Makapan Valley)
- ピルグリムズレストの還元工場の産業遺産 (Pilgrim's Rest Reduction Works Industrial Heritage Site)
- ◆リヒターズベルドの文化的景観 (The Richtersveld Cultural Landscape) など。

参考：
○モシ・オア・トゥニャ (ヴィクトリア瀑布) (Mosi-oa-Tunya/Victoria Falls) 自然遺産 (登録基準 (ii) (iii)) 1989年 ジンバブエ/ジンバブエ